

保険業におけるその他の仮設物、建築物、構築物等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|---|--------|---------|
| 1 | 18～19 | 約束の時間にお客様宅を退出する際の事故である。玄関先のスロープを下りていたところ、辺りが暗かった為足元が凍っていることに気がつかず、滑って尻餅をつき背中を地面で打った。その際、肋骨骨折、腰の痛み、臀部と腰に負傷を負い、救急搬送された。 | 50～29 | 10 |
| 5 | 13～14 | 道を間違え、行き過ぎた際に急にUターンしたところ、左後方にあった電柱に気付かず、首を強打したものである。 | 47～999 | 500 |
| 7 | 10～11 | 外出途上で駅付近を急いで歩いていたところ、雨で濡れた路肩で滑って転倒し、左肩・左肘・両手首を強打し左方上腕骨近位端亀裂骨折、左肘・両手首打撲傷等を負った。 | 37～299 | 100 |
| 12 | 17～18 | 店内にある代理店へ訪問し、駐車場へ戻った時、車止めにつまずき転倒した。 | 56 | 1～9 |
| 12 | 8～9 | 出勤時、営業所入口ドア前の段差に躓き、転倒した。 | 57 | 500～999 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html